

コロナ禍における学生支援の取り組みについて

龍谷大学では、2021年度第1学期から対面授業を原則として実施しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、急遽オンライン授業に切り替えることとなりました。

こうした授業形態の切り替えや課外活動の全面中止といった学生生活の変化が、学生に様々な影響を及ぼしていると危惧されることから、5月に緊急学生アンケートを実施いたしました。アンケート結果を踏まえて、大学は様々な学生支援の取り組みを実施しておりますので、一部をご紹介します。

■「百縁夕食」の実施 (6/21～8/3)

- ・コロナ禍で生活が困窮する「一人暮らし」の学生を支援
- ・龍大生協と連携し、1食100円で栄養満点の夕食を提供

アンケート結果から、一人暮らしの学生が困窮していることが判明し、龍谷大学生協と連携した食支援の取り組みを実施。また、1・2回生を中心に友達づくりや課外活動への所属意欲はあるものの、コロナ禍の制限のため十分な交流ができていないことも明らかとなり、「百縁夕食」にあわせて、様々な学生交流イベントを実施いたしました。



食事中は黙食を徹底



管理栄養士監修メニュー
(日替わり)

■日用品の無料配付 (7/21・27)

本取り組みに賛同いただいた京都生活協同組合様から、洗剤やトイレットペーパー、生理用品などの日用品を多数寄贈いただきました。



■お米の無料配付 (7/6)

卒業生の保護者の方から寄贈いただいたお米にメッセージカードを添えて、保護者の方の想いとともに学生に配付いたしました。



■「ゲンゴロウ郷の米」無料配付・実食提供 (7/21)

政策学部の学生らが、PBL科目「政策実践・探究演習」として開発した「ゲンゴロウ郷の米」も、連携先の京丹後森本アグリ株式会社様から寄贈いただきました。

無料配付に加え、当日の百縁夕食でも調理して提供されました。



■学生交流イベント (6/28、7/1、6、7、9、14、21、27)

「百縁夕食」の会場内に相談ブースを設け、先輩学生らによる「授業なんでも相談会」、「サークルなんでも相談会」を実施。「ご縁交流ブース」では、コロナ禍で減少している「人と人との交流を願う」学生たちの協力のもと、七夕笹飾りやハーブの苗の配付が行われました。



授業なんでも相談ブース



サークルなんでも相談ブース



ご縁交流ブース (七夕笹飾り)



ご縁交流ブース (ハーブの苗配付)

百 (多く) のご縁 (繋がり) が広がっていくようにという想いを込めて企画いたしました「百縁夕食」は、1日当たり約400人、のべ11,383名の学生が利用しており、ご縁で支援の輪も広がっています。

■その他の学生応援の取り組み

・「学生応援特設サイト」6/21開設

新入部員募集中のサークルやイベント (対面・オンライン) 情報、学生相談窓口など、学生応援企画を集約した特設サイトを開設しています。

今後も、各種イベントや学生支援に係る情報など、随時更新しますので、ぜひお子様にご紹介ください。

